



平成12年5月2日

財団法人交詢社
理事長 石川忠雄 様

社団法人 日本建築家協会 (JIA)
関東甲信越支部支部長 服部 範二
保存問題委員会委員長 篠田 義男

交詢社ビル保存に関する要請書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は本会の活動にご理解賜りご協力下さいまして厚く御礼申し上げます。

このたび、貴交詢社ビルを取り壊し改築されると聞き及び驚きを禁じ得ません。と申しますのも昨秋関東甲信越支部において銀座建築展を開催した折、主会場として借用し、そのたたくまいと空間構成に大きな感銘を受けたことが記憶に新しいからです。

このビルは申し上げるまでもなく、福沢諭吉をはじめとする慶應義塾出身者を中心として設立された日本初の社交クラブ貴交詢社のために建てられたもので、貸事務所部分とクラブ部分とか明確に区分された当時としては種類の少ない都市ビルの形態を持っております。

設計者の横河時介は、都市の中枢を形づくってきた建築を数多く手がけた横河工務所の創設者横河民輔の長男で、氏の代表作です。入口場の出窓にはアールデコ様式が取り入れられているなど建築史の上でも貴重な建築ですが、通りにも交詢社の名が付けられるなど1929年に竣工されて以来、銀座にとって欠かすことのできない風景となって70数年に渡り存在してきました。今ではこのビルは、貴交詢社だけのものでなく銀座を愛する数多くの人々の共有する文化遺産といえるでしょう。今私たちがこの建築を失うことは日本近代建築の成果にとっての大きな損失だけでなく、銀座の街並み景観を損なう恐れも多分にあるものと存じます。この建築は耐震性に問題があると聞き及びますが、近年様々な手法により歴史的建造物を残す方法が試みられております。

同じ横河工務所が設計した日本工業倶楽部会館が改築された際歴史検討委員会が設立され、残しながら改築する方法が検討され大きな成果がありました。交詢社ビルにおきましても、是非このような建築家を含む検討委員会を設置されるなど衆知を集めて今後のあり方を検討されることを望むものです。JIA関東甲信越支部並びに保存問題委員会としても出来る限り様々な協力をさせて頂くを申し添えます。

敬具